

平成 14 年 9 月 9 日

株式会社ユーズコミュニケーションズ
株式会社有線ブロードネットワークス

BGP4 の可用性実験開始のお知らせ

第一種通信事業者で光ファイバによる FTTH(Fiber To The Home)/FTTO(Fiber To The Office)の運営を行っている株式会社ユーズコミュニケーションズ（通信技術本部：東京都渋谷区、代表取締役社長：宇野 康秀、以下ユーズコム）は、企業向け FTTO における冗長化接続サービス、及びユーザ増加に備えて自社網の拡大を考慮したエッジ BGP 4 (Border Gateway Protocol 4)のインプリメントを行うために、BGP4 の可用性実験を行うことのお知らせ致します。現使用機器を含め、新たに導入検討を行う機器とで、BGP4 のインプリメント状況を試験し、本試験をクリアした機器を自社網内の試験設備として導入し、耐久試験と実用実験を行い本サービスへ適用する予定です。

記

1. 試験の目的

BGP4

現在、株式会社有線ブロードネットワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宇野 康秀、以下 USEN）が提供し、ユーズコムが運営する光ファイバーブロードバンドサービス「BROAD GATE」において、インターネットアクセスの為にグローバル IP アドレスを複数ユーザへ付与しておりますが、その IP アドレスを自社網内で経路情報として流通させるにあたり、ネットワーク及びユーザが拡大するにつれ、まとまった IP アドレスのグループとして流通させることが困難になってきております。

BGP4 を末端の顧客収容機器から使用することにより、低負荷で且つスムーズな経路制御を網内で行うことが出来、且つ VLAN の様な少数の設定制限やレイヤ 2 での冗長制御を複雑に行うことなくネットワークを運用することが可能となります。またレイヤ 3 を末端までインプリメントすることにより、各々の顧客トラフィックの制御を緻密に行うことが出来、ユーザの使用状況に応じて設定を動的に変更することや、不正アクセスの制御を緻密に行うことが可能となります。

2. 協力企業について

本試験は、基本的に自社内のラボで第一次試験を行い、ユーズコム内の技術部門及び運用部門の知識と経験を活用して行います。また本試験で使用するソフトウェアやハードウェアは販売されているものに限定し、各々の機器の試験結果をユーズコムのホームページ (<http://www.ftth.co.jp>) にて公開します。

[協力企業]

エクストリームネットワークス株式会社

シスコシステムズ株式会社

ジュニパーネットワークス株式会社

ダサンネットワークス

物産ネットワークス株式会社(ファウンドリーネットワークス)

リバーストーン・ネットワークス株式会社 (五十音順)

3. 試験期間

機器仕様確認試験：2002年8月～2002年9月中旬

フィールド実験：2002年10月～2002年11月

以上

<株式会社ユーズコミュニケーションズ会社概要>

【社名】 株式会社ユーズコミュニケーションズ <http://www.ftth.co.jp>

【所在地】 本社 (総務部)：東京都千代田区永田町二丁目11番1号
(通信技術本部)：東京都渋谷区神泉町9番8号

【資本金】 120億円 (平成14年3月末日現在)

【事業内容】 電気通信事業に基づく第一種電気通信事業、コンピュータソフトウェアの開発、電気通信工事業、前各号に付帯し、又は関連する一切の事業

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ユーズコミュニケーションズ

企画部 担当/南、塚本

TEL: 03-5489-0276 FAX: 03-5489-2156

e-mail: us-press@usen.ad.jp

その他広報に関する窓口

株式会社有線ブロードネットワークス

社長室 広報担当 山田

TEL: 03-3509-7104 FAX: 03-3509-7103

e-mail: public-relations@tk.usen.co.jp